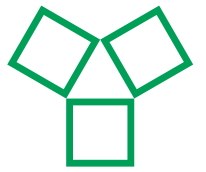


横浜美術館
YOKOHAMA MUSEUM OF ART



Educational Program: Children's Workshop

子どものアトリエ プログラム

2026.4-2026.9



① 「学校のためのプログラム」のご紹介①

横浜市内の学校を対象に、造形や鑑賞の活動をおこなう「学校のためのプログラム」。今回は、年長児と小学校1～3年生対象の活動をご紹介します。

1日を通して2つの活動をおこないます。アトリエでの造形活動では、絵の具・粘土・紙から学校ごとに1つ選択し、素材にふれることでその特性を活かした造形の楽しさを発見していきます。例えば粘土の活動では、ひとり3キロの土粘土を使い、素足で踏んだりお腹にのせてみることで、粘土の柔らかさや冷たさ、ずっしりとした重さを直に感じることができます。全身を使ったダイナミックな活動が、子どもたちの心と体をほぐしていきます。

展示室での鑑賞活動では、クラスごとにわかれてお話ししながらコレクション作品を鑑賞します。「この作品のどこが好き?」「自分だったらどうつくる?」。エドゥケーターの間いかけに子どもたちがこたえていきます。自分の意見も友達の意見も大事にしなが、作品の魅力を探ります。

自分の目でみて、自分の手でふれ、自分でやってみる。そして、自分の気持ちを言葉で表現する。プログラムが、子どもたちが主体的に物事に向き合うきっかけになれば、と私たちは考えています。



粘土でおだんごをつくる様子。何個つくれるかな?



子どもたちが作品を鑑賞する様子。じっくりみてみよう。

横浜美術館の展覧会

小学生以下、観覧無料

※日程や内容等は変更になる場合がございます。最新の情報は当館ウェブサイトでご確認ください。

[企画展]

没後110年 日本画の革命児 今村紫紅

2026年4月25日(土)～6月28日(日)

休館日＝木曜日(ただし4月30日と5月7日は開館)

鮮やかな色彩と伸びやかな構図、たくみな筆づかいで、新しい日本画を志した画家・今村紫紅の大規模な回顧展。35年の生涯を力強く駆け抜けた紫紅の創作の軌跡を、約180点の作品でたどります。国指定重要文化財の《熱國之巻》や《近江八景》(いずれも期間限定展示)のほか、初公開の作品も数多く出品されます。

今村紫紅《護花鈴》(図は六曲屏風一雙の部分)
明治44年(1911) 霊友会妙一コレクション所蔵
(展示期間: 4月25日～5月8日)



[コレクション展]

みる風景、かんがえる風景

2026年4月25日(土)～6月28日(日)

休館日＝木曜日(ただし4月30日と5月7日は開館)

「今村紫紅」展に関連し、風景をテーマに構成します。風景画に強烈な個性を発揮した紫紅の制作にみられるように、芸術家たちは独創的な風景を描き写してきました。風景に何をみて、かんがえ、表現してきたのか、19世紀から現代にいたる作品を紹介しながらたどります。「ハイライト」では、ダリやピカソらの作品を展示します。

ポール・セザンヌ《ガルダンヌから見たサント＝ヴィクトワール山》1892-95年



[アーティストとひらく]

鎌田友介展：ある想像力、ふたつの土地

2026年4月25日(土)～6月28日(日)

休館日＝木曜日(ただし4月30日と5月7日は開館)

鎌田友介はこれまで韓国、台湾、アメリカ、ブラジルなど日本国内外に建てられた日本家屋について調査し、社会や文化の複雑さを浮かびあがらせる作品を発表してきました。本展では、横浜市本牧にある三溪園の創設者で、近代日本画家の支援者でもあった実業家の原三溪にまつわるインスタレーションを発表します。



鎌田友介「ある想像力、ふたつの土地」のためのイメージ

[企画展]

マリー・アントワネット・スタイル

2026年8月1日(土)～11月23日(日)

休館日＝木曜日

歴史上もっともファッションナブルな王妃、マリー・アントワネット。王妃の装いやインテリアは、ファッションから映画まで、広く影響を与えてきました。18世紀に王妃がつくりあげた「スタイル」の源泉が、いかに時代を超えて人々を魅了し、現代のクリエイターたちにも示唆を与え続けているかについて紹介します。

フランソワ＝ユベール・ドルーエ《コートドレスのマリー・アントワネット》1773年
ヴィクトリア&アルバート博物館所蔵
©Victoria and Albert Museum, London



子どものアトリエってどんなところ？

自分の目でみて、自分の手でふれ、自分でやってみよう！

横浜美術館子どものアトリエは小学校6年生（12歳）までの子どもたちを対象とした創造の場です。

「描く・つくる・みる」体験を通して、子どもたちの主体性を育むプログラムを提供しています。

自分で試行錯誤しながらつくってみること。

作品を前に、自分の気持ちや感じたことを言葉にしてみることに。

アートとの出会いを通じて、子どもたちが自分自身と向き合いながら、

「やってみよう！」という気持ちを引き出すことを目指しています。

お申込みは
ウェブサイトから

詳しくは裏面をご覧ください

個人の造形 プログラム

事前申込制 有料

さまざまな素材の特性や技法を、年齢に応じた方法で学ぶプログラムです。講師の指導のもと、つくりにじっくりと取り組みたい子どもたちにおすすめです。複数の日程があるプログラムは、全日程の出席が必要です。



5月 柏木副館長の指令！ 紫紅の謎を追え！

1回 小学校4・5・6年生

当館学芸員・エドゥケーター

企画展「没後110年 日本画の革命児 今村紫紅」の鑑賞プログラムです。横浜生まれの画家・今村紫紅。

35歳という若さで亡くなった紫紅の作品には、多くの謎が残されている。そこで、柏木副館長の指令のもと、作品をくまなく調べる調査隊を大募集！

君も紫紅の謎に迫ろう！

日程=5/5^必、5/10^必
(全1回、各回同じ内容です)

時間=14:30-16:30

定員=各回20名(抽選)

参加費=2,000円(材料費含む)

申込期間=4/11^土~4/24^金



今村紫紅《鞠聖図》(図は部分) 明治44年(1911)

6月 フレームアート 1回 年長児

当館エドゥケーター

自分の好きな絵や写真を飾る、オリジナルのフレーム(がくぶち)をつくろう！黄色・白・紺色の3色からベースを選び、ビーズやタイルなどさまざまな素材で自由にデコレーション。色や形を組み合わせたら、フレームアートが完成！

できあがったら、みんなの作品をならべてみよう！

日程=6/14^日(全1回)
時間=14:00-15:30
定員=20名(抽選)
参加費=2,500円(材料費含む)
申込期間=5/22^金~5/29^金



7月 スチロールで 舟をつくろう！ 2回 小学校1・2・3年生

当館エドゥケーター

スチロールカッターを使って、発泡スチロールの舟をつくりまわす。どんな形がすてきかな？かっこいいかな？

誰が乗るかも考えてみよう。

自分で切ったパーツを組み合わせ

色をつければ、

自分だけのすてきな舟のできあがり！

日程=7/5・12^日(全2回)

時間=14:00-16:00

定員=20名(抽選)

参加費=4,500円(材料費含む)

申込期間=6/12^金~6/19^金



9月 遠い国の素敵な友だち~粘土をつかって 人形をつくろう~ 2回 小学校1・2・3年生

こいちりょうじ(こども造形研究家)

手にはめて動かせる人形を制作します。

石粉粘土に色を練り込む技法や、布やボタンなどを組み合わせた衣装づくりにも挑戦します。完成後には人形を使って

お話する時間も。遠い国の友だちと出会う、楽しいひとときを一緒に過ごしましょう。

日程=9/6・13^日(全2回)
時間=14:00-16:30
定員=20名(抽選)
参加費=5,500円(材料費含む)
申込期間=8/9^日~8/21^金



アクセス プログラム

事前申込制 有料 団体利用不可

美術館に来るのがはじめての就学前の子どもたちや、障がいの有無にかかわらず、アートをもっと楽しみたい子どもたちが、家族とともに参加できるプログラムです。おうちとは違った環境でのものづくりや鑑賞体験を通して子どもたちの興味や関心をひろげるとともに、アートと美術館をより身近に感じてもらうことを目指します。



はじめての造形あそび 家族 年少児から年長児

年少児から年長児までの未就学児とその保護者を対象とした、素材に出会う時間です。

エドゥケーターが講師となって素材の楽しみ方をレクチャーします。家族と一緒にいろいろな素材や道具に触れてみませんか？

絵の具コースでは水彩絵の具を使います。筆を使って点々を描いたら、次は線を描いて、丸を描いて、とあそびながら筆の使い方や色の混ぜ方を学びましょう。

粘土コースでは土粘土を使います。ちぎったり、まるめたり、くっつけたり。自分の手を使ってどんどん形をかえながら、粘土の特性を知りましょう。

日程＝絵の具コース 8/5㊦、粘土コース 8/7㊦

時間＝10:15-11:30

対象＝未就学児（年少児から年長児）とその保護者

定員＝各回30グループ程度 [1グループ5名まで] (抽選)

参加費＝ひとり400円 (子ども・大人共通料金、当日現金支払い)

申込締切＝各開催日の10日前

のびのび造形じかん 家族 小学生

個別支援学級や特別支援学校に通う小学生とその家族を対象とした、自由な創作の時間です。

大きな紙に筆や手などを使って絵の具でお絵描きしたり、重たい土粘土をこねたり。触れて楽しむ色水袋や不思議な音の出るオブジェなど、さまざまな仕掛けを用意しています。それぞれのペースでゆっくりじっくり楽しむことができます。

素材との出会いや人とのかかわりを通して、子どもたちの感覚をひらきます。

日程＝4/25・5/23・6/20・7/18・8/22・9/19㊦ (月1回)

時間＝10:15-11:30

対象＝個別支援学級、特別支援学校等に通う小学生とその保護者、きょうだい

定員＝各回20グループ程度 [1グループ5名まで] (抽選)

参加費＝ひとり400円 (子ども・大人共通料金、当日現金支払い)

申込締切＝各開催日の10日前



撮影：加藤甫

みんなの フリーゾーン

事前申込制 先着順 有料 団体利用不可 家族

子どもたちが、さまざまな素材を使って描いたりつくったりすることができるプログラムです。粘土、絵の具、紙の3つのコーナーで自由に造形活動に取り組むことができます。自分で素材を選び、つくってみることを通して、子どもたちの自主性を育むことを目指します。

道具をひとりで使うことができる
年少児からの参加がおすすめです。

開催時間が
10:15-11:30に変更になりました。

どんなことができるの？

●ねんどコーナー

陶芸に使う粘土に水を加え、よく練って、子どもたちがちぎったりまるめたりしやすくしています。

自然の素材である土の粘土は、思わず触れたいくなるなめらかさと、思った形をすぐにつくれる自由さが魅力です。

机を粘土板代わりに、たくさん粘土を使ってダイナミックに作品づくりに取り組んでみましょう。



撮影：加藤甫



撮影：加藤甫

●えのぐコーナー

赤・青・黄・白の4つの色を基本に使います。

自分の身体より大きな画面に思い切り絵を描くことができます。

気候の良い時期は、屋外の中庭で、お絵描きや好きな色をつくる色水遊びが楽しめます。暑い日や寒い日、雨の日は室内で実施します。

絵の具で汚れてもよい服装と靴でご参加ください。



撮影：加藤甫

●かみコーナー

色紙や段ボール紙など、色や厚さ、手触りが異なる紙などの素材を使って自由に工作ができます。

ハサミを使って好きな形に切ったり、のりやホチキス、テープで貼りあわせたりして、自分だけのアイデアを自由に形にしてみましょう。

作品はおうちにもって帰って、飾ったり遊んだりできます。

●開催時間

10:15-11:30

●対象

小学生以下の子どもとその保護者

※団体での参加はできません。 ※お友だち同士の連名での申込みはできません。

●定員

各回120グループ程度 [1グループ5名まで] (先着順)

※保護者・同伴の乳児を含むすべての人数でお申込みください。

※安全面への配慮から、必ず保護者の方もご参加ください。

●参加費

ひとり400円 (子ども・大人共通料金、当日現金支払い)

※釣銭のないようご注意ください。

●受付期間

各開催日1週間前の12時から ※定員に達し次第、受付を終了します。

●開催日カレンダー

2026年	日曜日
4月	12日・19日・26日
5月	10日・17日・24日
6月	7日・14日・21日
7月	5日・12日・19日
8月	9日・23日・30日
9月	6日・13日・20日

●講師・アーティストの紹介



●こいちろうじ

こども造形研究家。美術/創作を通じた交流を中心に活動。子どもそれぞれの主体的な表現につながる工夫と豊かさのある時間・場作りを探究、実践中。2011年より《美術造形教室ぶらすあーと》主宰。美術大学と保育専門学校にて講師を経験。保育園・幼稚園の造形講師を複数園担当、子どもの造形に関する講義・執筆等多数。

予告 Live! 横浜2026「みんなのアートひろば」開催

横浜美術館では、「Live! 横浜2026」にあわせて誰でも利用できる「みんなのアートひろば」を開設します。子どもも大人も一緒に楽しむワークショップ「歌う♪ぱくぱく紙工作」や休憩コーナーなどがあります。

日程=4/4(土)・5(日)

時間=各日11:00-16:00

会場=プロジェクトスペース、ポルティコ

対象=どなたでも(小学生以下は保護者同伴)

入場無料、事前予約不要

主催: 横浜アーツフェスティバル実行委員会

共催: 横浜市、公益財団法人横浜市芸術文化振興財団



●詳しくはこちらをご覧ください

公式サイト

<https://liveyokohama.jp>



申込方法

ウェブサイトの各プログラムの「申込フォーム」からお申込みください。

◎きょうだいで対象年齢が該当する場合は、連名でお申込みいただけます。ただし、お友だち同士の連名での申込みはできません。

◎応募者多数の場合は抽選となります。

横浜美術館ウェブサイト「参加する」
<https://yokohama.art.museum/event>



●申込後の流れ

▶受付完了後に「受付確認メール」(自動返信)をお送りします。すぐに届かない場合は、ご連絡ください。

※登録アドレスに間違いがあるか、メール受信拒否が設定されている場合があります。特にスマートフォンでお申込みの場合は、設定をご確認の上、当館ドメイン@yaf.or.jpの受信設定をお願いします。

▶抽選結果は、申込締切後、全員に「メール」でお知らせします。

▶参加費のお支払い方法などは「メール」でお知らせします。

※原則として一旦納入された参加費は返金いたしません。

◎やむを得ない事情により、プログラム内容を変更または中止する場合があります。その際は、申込者全員にご連絡します。

◎プログラム中の記録写真、映像を横浜美術館または横浜市芸術文化振興財団のウェブサイトやその他の刊行物に掲載する場合があります。

◎お預りした個人情報、横浜市芸術文化振興財団個人情報保護方針に基づき厳重に管理するとともに、プログラムに関するご連絡や、横浜美術館のご案内以外には使用しません。

●お問合せ

横浜美術館 子どものアトリエ

Tel. 045-221-0300

受付時間10:00-18:00 木曜日休館(4/30、5/7、8/13は開館)

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい3-4-1

●アクセス

○みなとみらい線(東急東横線直通)「みなとみらい」駅(3番出口)から、マークイズみなとみらい(グランドギャラリー)経由徒歩3分

○JR京浜東北線・JR根岸線・横浜市営地下鉄「桜木町」駅から(動く歩道)を利用、徒歩10分

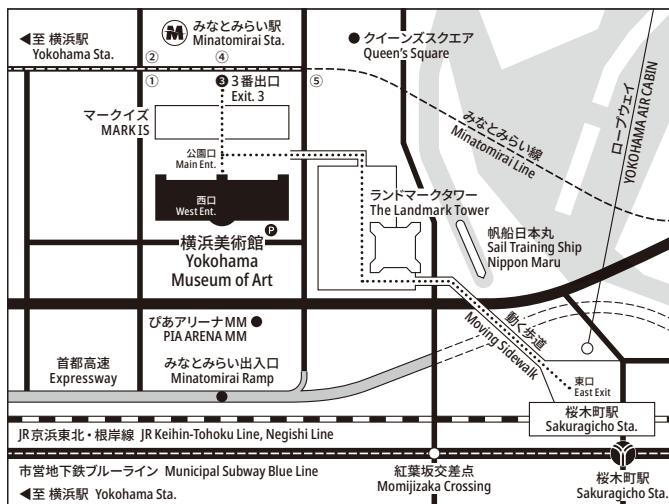
○駐車場(10:00-21:00、台数157台)最初の90分は500円、以降30分毎に250円

※自転車・自動二輪車は、周辺の有料駐輪場をご利用ください。

※障がい者手帳をお持ちの方には駐車場割引(最初の90分無料)があります。

●乳幼児対象サービスやバリアフリー情報 →

<https://yokohama.art.museum/visit/accessibility/>



横浜美術館をさらに楽しんでいただくために、さまざまな方を対象としたプログラムを企画しています。詳細は当館ウェブサイトでご確認ください。

●横浜美術館ウェブサイト →

<https://yokohama.art.museum>

